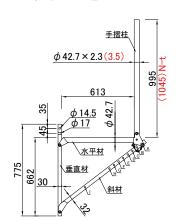
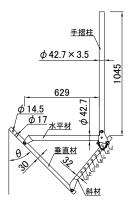
各社工法であるテールアルメ工法・テクスパン工法・ モジュラーチ工法・多数アンカー工法・ワイドパネル ビーム工法等の足場に最適です。

特長

- 1. 直から8分勾配に対応できます。
- 2. 横端太に取付ができるため、作業が容易におこなえます。
- 3. 折りたたみができるため、在庫スペース·輸送コストが低減できます。
- 4. ピンの抜き差しだけで角度調整が可能です。

◆形状・寸法





斜面ブラケットN [質量/7.5kg] 斜面ブラケットN-t [質量/9.0kg]

斜面ブラケットN緩斜面用 (45°~80°) [質量/8.4kg]

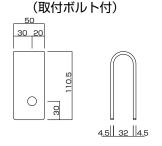
※斜面ブラケットNと斜面ブラケットN-tの違い ・手摺柱の高さと手摺柱厚みの違い

◆吊り金物と組合せ〔オプション〕



1.96kN (200kgf)

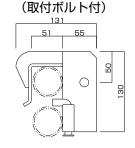
【キャットハンガーP】 ●丸パイプ、角パイプ50口使用時



【吊り金具】

●ボルトW3/4以上使用時

[質量/0.4kg]



[質量/0.9kg]



斜面ブラケットN 斜面ブラケットN緩斜面用

• 1.—				
穴位置	角度(θ)	使用勾配		
Α	O°	直		
В	6°	1分		
С	12°	2分		
D	18°	3分		
Е	23°	4.5分		
F	28°	6分		
G	34°	7分		
Н	39°	8分		
I	65°	_		

穴位置	角度(θ)
٦	45°
K	50°
L	55°
М	60°
Ν	65°
0	70°
Р	75°
Q	80°

【キャットハンガーK】

●角パイプ60口使用時 (取付ボルト付)

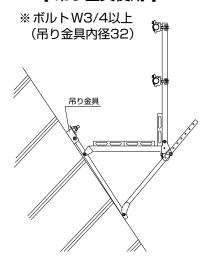


크 オ

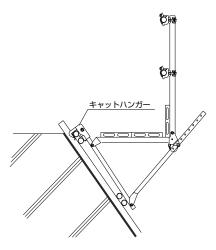


◆使用例

【吊り金具使用】

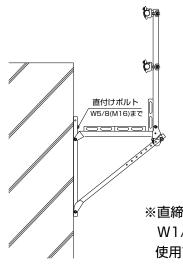


【型枠横端太取付け】





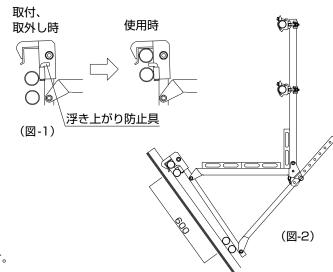
【躯体直締め】



※直締ボルトは別途手配になります。W1/2又はW5/8(M12又はM16)のボルトが使用できます。(本体孔径φ17)

▲注意事項

- 1. 手摺柱と手摺及び中桟は必ずクランプにより緊結してください。
- 2. キャットハンガーを使用する場合は(図-1)のように、 浮き上がり防止具を固定側へ、また横端太ピッチを 600mm以内(図-2)でご使用ください。
- 3. 許容荷重を超えて使用しないでください。
- 4. キャットウォーク (旧斜面ブラケット) とは足場 位置が変わるため併用しないでください。
- 5. 折りたたみ可動時に手や足をはさみこまないよう にご注意ください。



※写真は2009年6月以前に撮影されたものを使用しています。

※本カタログに表示するキャットハンガーは岡部株式会社の登録商標です。

◆取付け方のバリエーション

【躯体に直接取付け】



【メタルフォームに取付け】



斜面ブラケット取付金具MF用



斜面ブラケット振止金具MF用

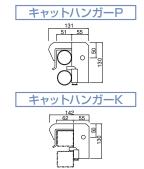


■テールアルメエ法取付方法

ハーフスキンの組立後、ハーフスキンに加工され ているほぞ穴を利用し、前面からボルトを貫通さ せ、背面は共回り防止金具にて取付けします。

【端太材に取付け】





【ワイドパネルビームに取付け】



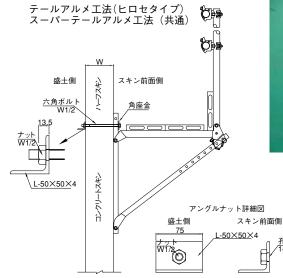


斜面ブラケット振止金具WPB用



■スーパーテールアルメエ法取付方法

版の穴を利用し、前面からボルトを貫通させ、背面は アングルナットにて取付けします。





六角ボルトの長さ(テールアルメ工法) ※ヒロセタイプ

	スキン厚(W)	ボルト長さ
①	140	195
2	140+D50	240
3	180	240
4	180+D50	285

※D50: デザイン50mmの場合

六角ボルトの長さ(スーパーテールアルメ工法)※(共通)

	スキン厚(W)	ボルト長さ
1)	140+D40	255
2	180+D40	285

※D40: デザイン40mmの場合

※六角ボルトの長さは、斜面ブラケットNを使用した時の寸法です。 ※コンクリートスキンの厚さ(W)を確認してください。